



伸縮門扉QA HG型 (ベースプレート仕様)

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

■安全に関する記号と説明

**警告**

・取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

**注意**

・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

■情報に関する記号と説明

施工上のお願い

・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

■ねじ等の締結部品の記号

ねじやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1-1、1-2、2-3等)

締結部品の種類は「**■ 梱包明細表**」を参照してください。

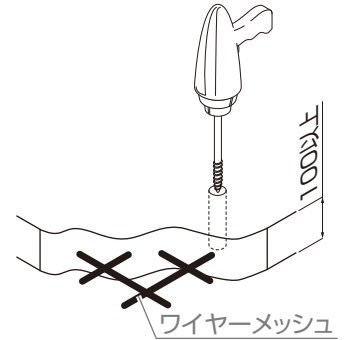
■目次

| | | | |
|---------------------------|----|-------------------------------------|----|
| 施工上の注意 | 2 | 3 施工手順 | 10 |
| 施工の前に | 2 | 3-1 既設伸縮門扉の撤去(取替えの場合) | 10 |
| 施工上のご注意 | 2 | 3-2 柱位置の決定 | 11 |
| 施工の後に | 3 | 3-3 アンカーの施工 | 12 |
| チェックリスト | 3 | 3-4 ベースプレートの固定 | 14 |
| 梱包明細表 | 4 | 3-5 ヒジツボの取付け | 15 |
| 1 各部名称と基本寸法図 | 6 | 3-6 錠金具の付替え(右勝手の場合) | 16 |
| 1-1 各部名称 | 6 | 3-7 ヒンジストッパーの付替え | 17 |
| 1-2 基本寸法図 | 7 | 3-8 門扉本体の取付け | 17 |
| 2 施工の流れ | 10 | 3-9 移動柱の取付け | 18 |
| | | 3-10 落し棒の付替えと格子キャップ上の取付け | 19 |
| | | 3-11 回転柱の高さとヒンジストッパーの長さ調整 | 19 |
| | | 3-12 移動柱先端の高さ調整 | 20 |
| | | 3-13 移動柱の角度調整 | 22 |
| | | 3-14 錠受け金具、振止ガイド受け、柱受け金具の高さ調整 | 22 |
| | | 3-15 落し棒受けパイプとセンター落し棒受けの埋設 | 23 |
| | | 3-16 センター落し棒の下限位置設定(両開きの場合) | 24 |

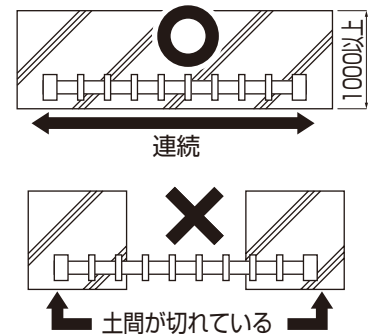
施工の前に

▲ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 施工の前に施工条件を満たしているか、確認してください。土間強度が不足している場合は施工できません。
- ・土間コンクリート厚が100mm以上でφ5-150×150程度のワイヤーメッシュが敷設されていること。アスファルト面には施工できません。コンクリートドリルで支障のない位置に穴をあけ、土間コンクリート厚を確認してください。確認後はモルタルで埋め戻してください。



- ・施工部の土間が間口方向に連続しており、奥行が1000mm以上あること。
- ・柱施工部の土間にクラック（ひび割れ）が無いこと。



施工上のお願い

- 施工場所に寸法的に正しく納まるか事前に必ず確認をしてください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

施工上のご注意

▲ 注意

- ねじは当社指定品を指定本数使用し、下記締付トルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。強度低下などの原因になります。
 〈推奨トルク〉
 ※M4ねじ: 1.5N・m±0.5N・m(15±5kgf・cm)
 ※φ4ねじ: 1.0N・m±0.5N・m(10±5kgf・cm)
 ※φ5ねじ: 3.0N・m±0.5N・m(30±5kgf・cm)
 ※M8ボルト: 12.5N・m±0.5N・m(125±5kgf・cm)
- あと施工アンカー工事は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますとアンカー部の強度不足など不具合発生の原因となることがあります。
- 施工時にアルミ製品の表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので、取扱いには十分に注意してください。



施工上のご注意(つづき)

施工上のお願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 施工中についた汚れは取り除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。

施工の後に

▲ 注意

- ねじにゆるみがないか確認してください。強度低下などの原因になります。

施工上のお願い

- 取扱説明書は施主様にお渡しください。

チェックリスト

※下記項目は重要事項ですので必ず点検してください。

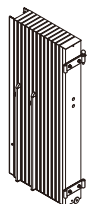


●ねじ止め






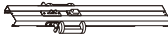
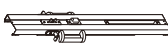



| No. | ページ | チェック内容 | |
|-----|-------------|--|--------------------------|
| 1 | 15 [3-5] | ヒジツボ A、ヒジツボ B は【2c】ボルトを使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。 | <input type="checkbox"/> |
| 2 | 18 19 | 柱キャップ上、柱キャップ下は【2d】ねじを使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。 | <input type="checkbox"/> |
| 3 | 18 19 | 移動柱は【2e】ねじを使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。 | <input type="checkbox"/> |
| 4 | 18 19 | 柱受け金具は【2b】ねじを使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。 | <input type="checkbox"/> |












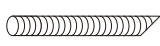


●柱の調整

| No. | ページ | チェック内容 | |
|-----|----------------|---|--------------------------|
| 1 | 19 [3-11] | 吊元柱と回転柱の高さが合っていることを確認しましたか。 | <input type="checkbox"/> |
| 2 | 20 21 | (片開きの場合) 戸当り柱と移動柱の高さが合っていることを確認しましたか。 (両開きの場合) 移動柱同士の高さが合っていることを確認しましたか。 | <input type="checkbox"/> |
| 3 | 22 [3-13] | (片開きの場合) 戸当り柱と移動柱が平行になっていることを確認しましたか。 (両開きの場合) 移動柱同士が平行になっていることを確認しましたか。 | <input type="checkbox"/> |
| 4 | 22 [3-14] | 錠受け金具、振止ガイド受け、柱受け金具の高さ調整を行い、錠と錠受けの高さが合っていることを確認しましたか。 | <input type="checkbox"/> |
| 5 | 19 [3-11-2] | 回転収納をする際、ヒンジストッパーを引き上げずにヒジツボ B から抜けてしまうことはありませんか。 | <input type="checkbox"/> |





梱包明細表

| 【1】本体セット (H12・H14) | | | | |
|--------------------|---|--------------|--------------|--------------|
| 名称 | 略 図 | 員 数 | | |
| | | 110S 200S | 220S 310S | 335S 420S |
| 本体 |  | 1 | 1 | 1 |
| 格子キャップ上 |  | 1 | 2 | 3 |
| 落とし棒受けパイプ |  | 2 | 3 | 4 |

| 【2】ベースプレート柱セット (H12・H14) | | | |
|---------------------------|---|-------------|-------------|
| 名称 | 略 図 | 員 数 | |
| | | 片開き 柱セット | 両開き 柱セット |
| 戸当り柱+ベースプレート (柱受け金具付) |  | 1 | - |
| 吊元柱+ベースプレート |  | 1 | 2 |
| ベースプレート250カバー (R/Lセット) |  | 1 | 2 |
| ベースプレート150カバー (R/Lセット) |  | 1 | - |
| 【2a】φ4×40サッシ用サラタッピンねじ3種 |  | 8 | 8 |
| 移動柱:掛側S |  | 1 | - |
| 移動柱:掛側W |  | - | 1 |
| 移動柱:受側 |  | - | 1 |
| 柱キャップ上 |  | 1 | 2 |
| 柱キャップ下 |  | 1 | 2 |

| 【2】ベースプレート柱セット (H12・H14) (つづき) | | | | |
|--------------------------------|---|---|-------------|----|
| 名称 | 略 図 | 員 数 | | |
| | | 片開き 柱セット | 両開き 柱セット | |
| ヒジツボA |  | 2 | 4 | |
| ヒジツボB |  | 1 | 2 | |
| ヒジツボカバー |  | 4 | 8 | |
| 回転柱受け金具 |  | 1 | 2 | |
| 金具 セット | 柱受け金具 | - | 1 | |
| | 【2b】M4×12サラ小ねじ |  | - | 2 |
| センター落とし棒受け |  | - | 1 | |
| ヒジツ ボ ピン セ ット | ヒジツボピンA |  | 1 | 2 |
| | ヒジツボピンB |  | 1 | 2 |
| | ヒンジキャップ |  | 2 | 4 |
| 【2c】M8×20六角ボルト |  | 8 | 16 | |
| 【2d】φ4×10サッシ用サラタッピンねじ3種 |  | 7 | 14 | |
| 【2e】φ5×8トラス十字タッピンねじ3種 |  | 8 | 16 | |
| アン カー ボ ルト セ ット | あと施工アンカー(接着タイプ)AP-10S |  | 8 | 8 |
| | 【2f】M10×150全ねじボルト(片面カット) |  | 8 | 8 |
| | 【2g】M10六角ナット |  | 24 | 24 |
| | 【2h】M10平座金 |  | 16 | 16 |

梱包明細表

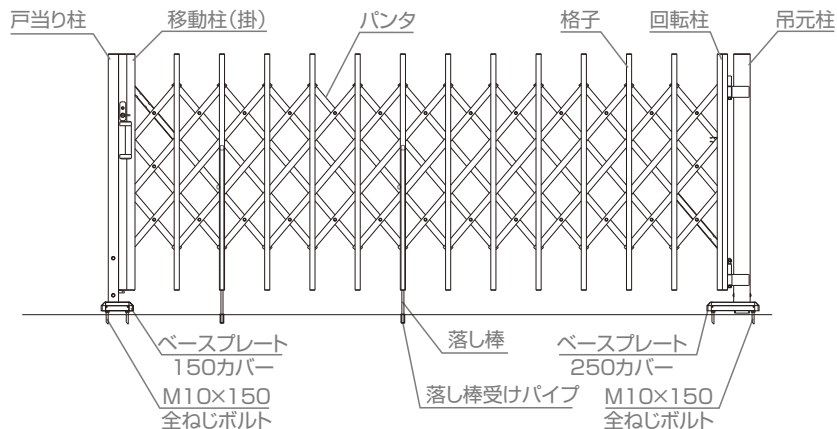
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | |
|---------------|---|-------------|-------------|
| | | 片開き 柱セット | 両開き 柱セット |
| バックアップ材500L |  | 4 | 4 |
| 基準シール |  | — | 1 |
| 鍵 |  | 3 | 3 |
| 取付説明書 EXM-099 |  | 1 | 1 |
| 取扱説明書 EXM-101 |  | 1 | 1 |

1 各部名称と基本寸法図

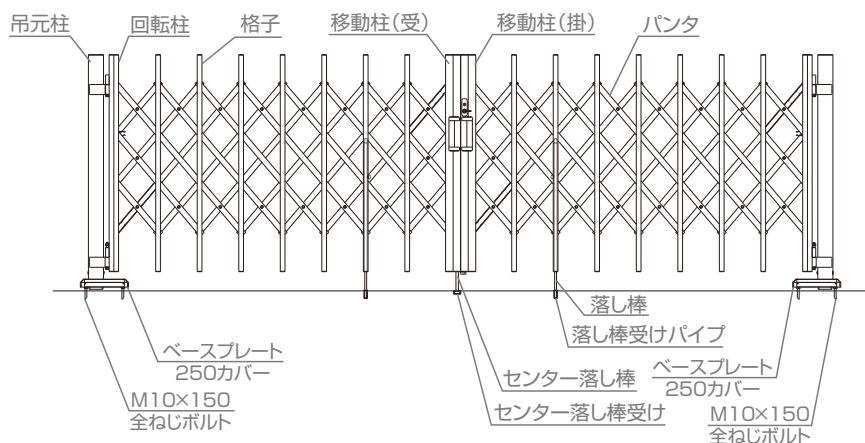
1-1 各部名称

※図は家側から見た場合を示します。

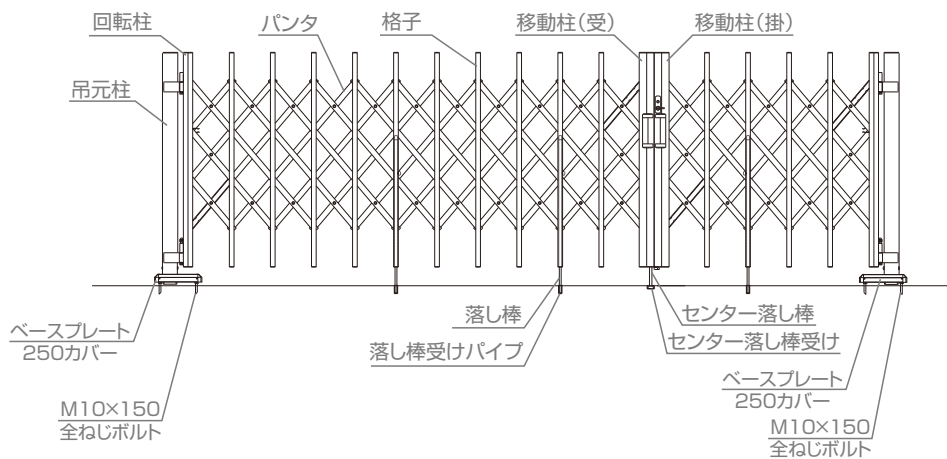
■片開きタイプ



■両開きタイプ



■両開き親子タイプ

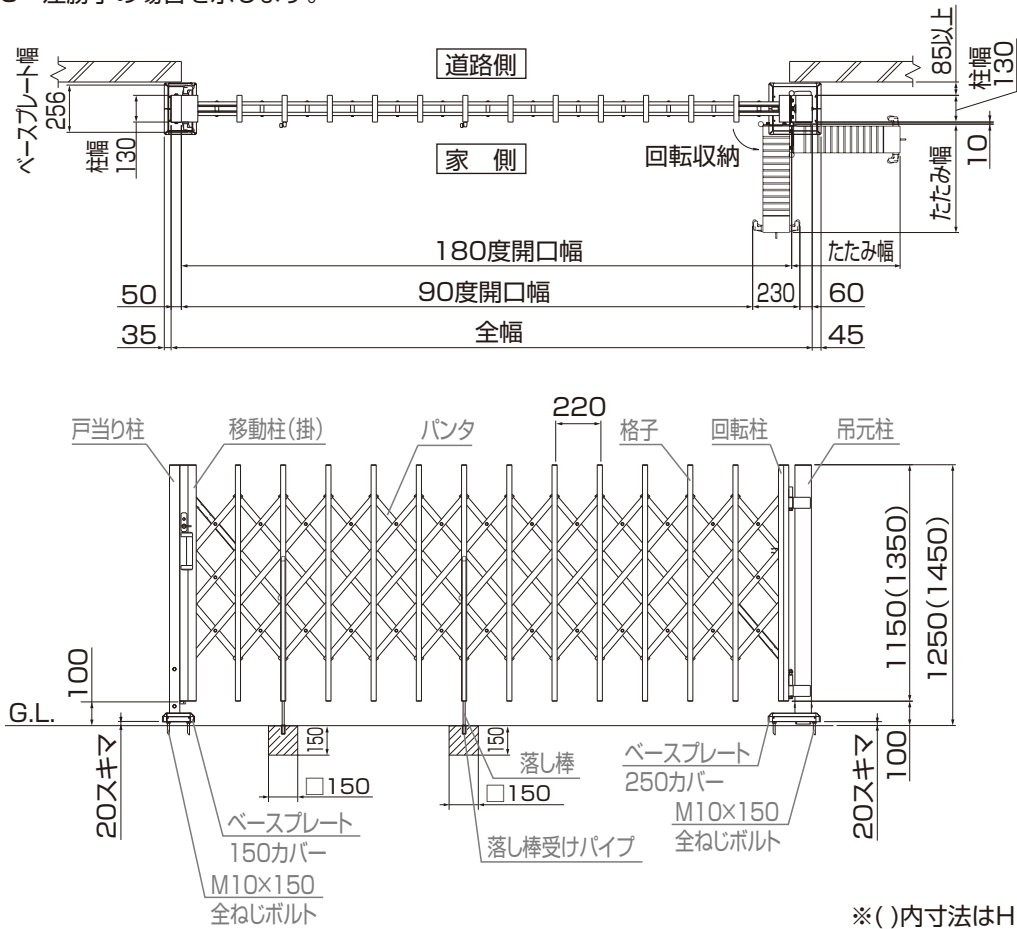


1 各部名称と基本寸法図

1-2 基本寸法図

■片開きタイプ

※図はH12-310S・左勝手の場合を示します。



※()内寸法はH14を示します。

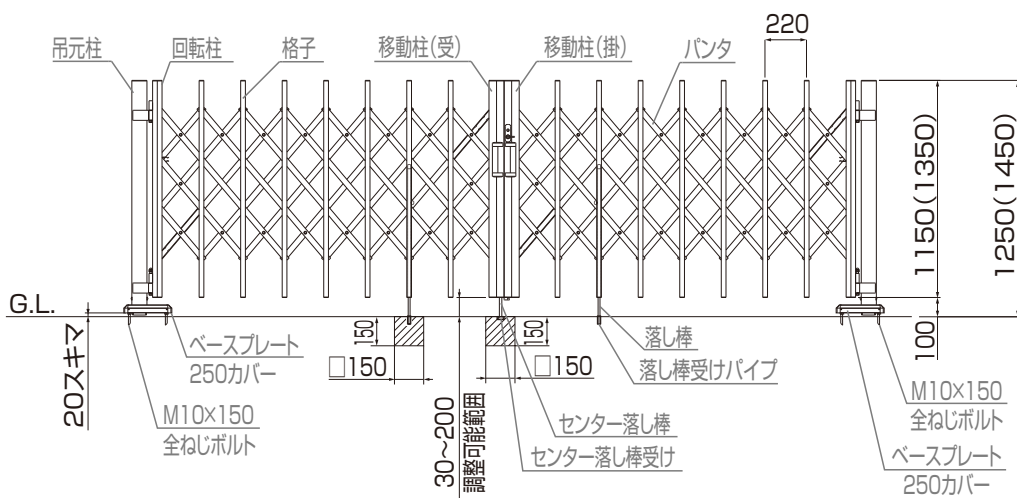
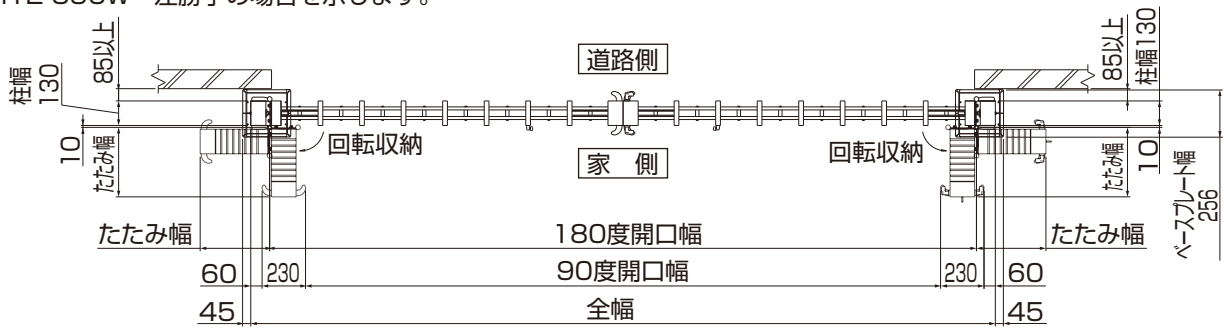
| 呼称 | 全幅 | たたみ幅 | 90°収納 開口幅 | 180°収納 開口幅 | 落とし棒数 |
|------|-------|------|--------------|---------------|-------|
| 110S | 1,140 | 245 | 800 | 990 | 1 |
| 135S | 1,360 | 275 | 1,020 | 1,210 | 1 |
| 155S | 1,580 | 310 | 1,240 | 1,430 | 1 |
| 180S | 1,800 | 340 | 1,460 | 1,650 | 1 |
| 200S | 2,020 | 375 | 1,680 | 1,870 | 1 |
| 220S | 2,240 | 405 | 1,900 | 2,090 | 2 |
| 245S | 2,460 | 435 | 2,120 | 2,310 | 2 |
| 265S | 2,680 | 470 | 2,340 | 2,530 | 2 |
| 290S | 2,900 | 500 | 2,560 | 2,750 | 2 |
| 310S | 3,120 | 535 | 2,780 | 2,970 | 2 |
| 335S | 3,360 | 590 | 3,020 | 3,210 | 3 |
| 355S | 3,580 | 620 | 3,240 | 3,430 | 3 |
| 380S | 3,800 | 655 | 3,460 | 3,650 | 3 |
| 400S | 4,020 | 685 | 3,680 | 3,870 | 3 |
| 420S | 4,240 | 720 | 3,900 | 4,090 | 3 |

1 各部名称と基本寸法図

1-2 基本寸法図 (つづき)

■両開きタイプ

※図はH12-390W・左勝手の場合を示します。



※()内寸法はH14を示します。

| 呼称 | 全幅 | たたみ幅 | 90°収納開口幅 | 180°収納開口幅 | 落し棒数 |
|------|-------|------|----------|-----------|------|
| 300W | 3,030 | 310 | 2,450 | 2,830 | 2 |
| 345W | 3,470 | 340 | 2,890 | 3,270 | 2 |
| 390W | 3,910 | 375 | 3,330 | 3,710 | 2 |
| 435W | 4,350 | 405 | 3,770 | 4,150 | 4 |
| 475W | 4,790 | 435 | 4,210 | 4,590 | 4 |
| 520W | 5,230 | 470 | 4,650 | 5,030 | 4 |
| 565W | 5,670 | 500 | 5,090 | 5,470 | 4 |
| 610W | 6,110 | 535 | 5,530 | 5,910 | 4 |
| 655W | 6,590 | 590 | 6,010 | 6,390 | 6 |
| 700W | 7,030 | 620 | 6,450 | 6,830 | 6 |
| 745W | 7,470 | 655 | 6,890 | 7,270 | 6 |

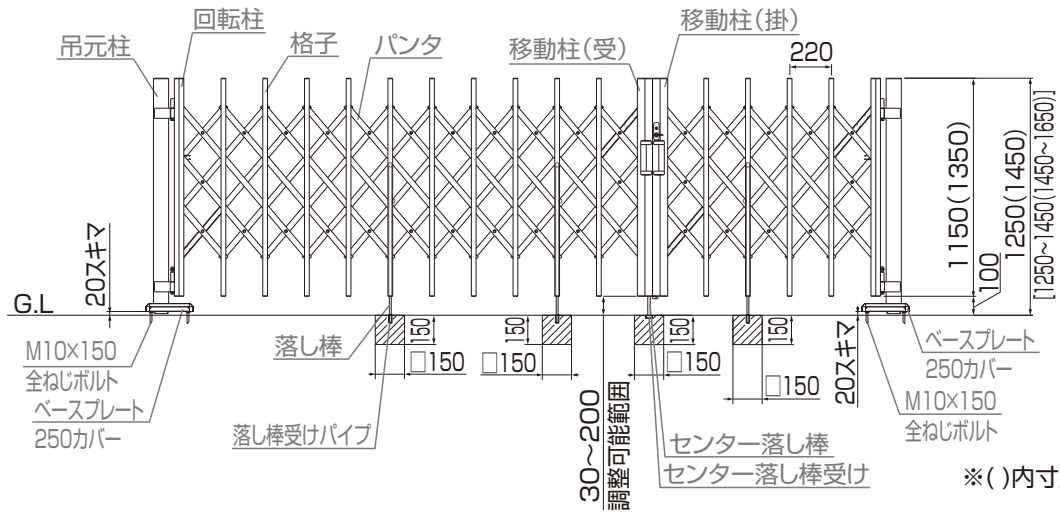
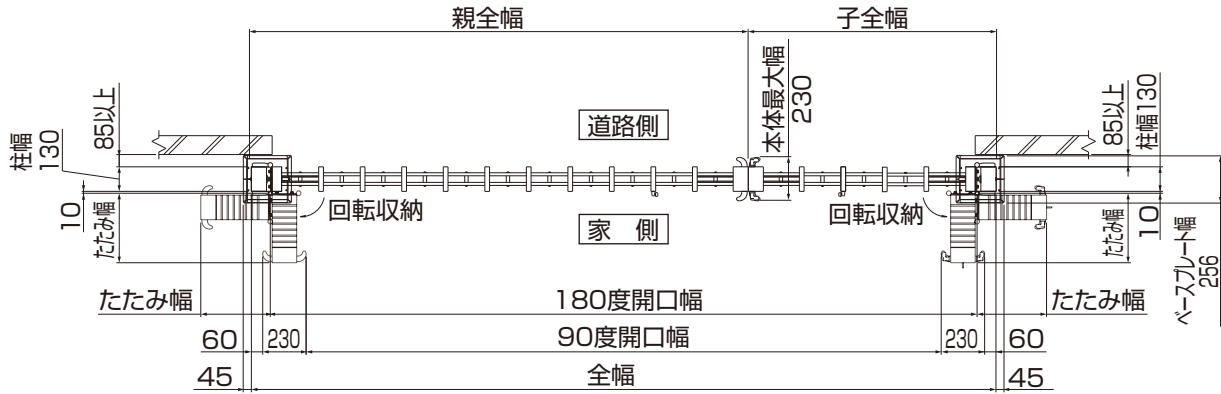
※落し棒数はセンター落し棒を除く。

1 各部名称と基本寸法図

1-2 基本寸法図 (つづき)

■両開き親子タイプ

※図はH12-(135+265)Wの場合を示します。



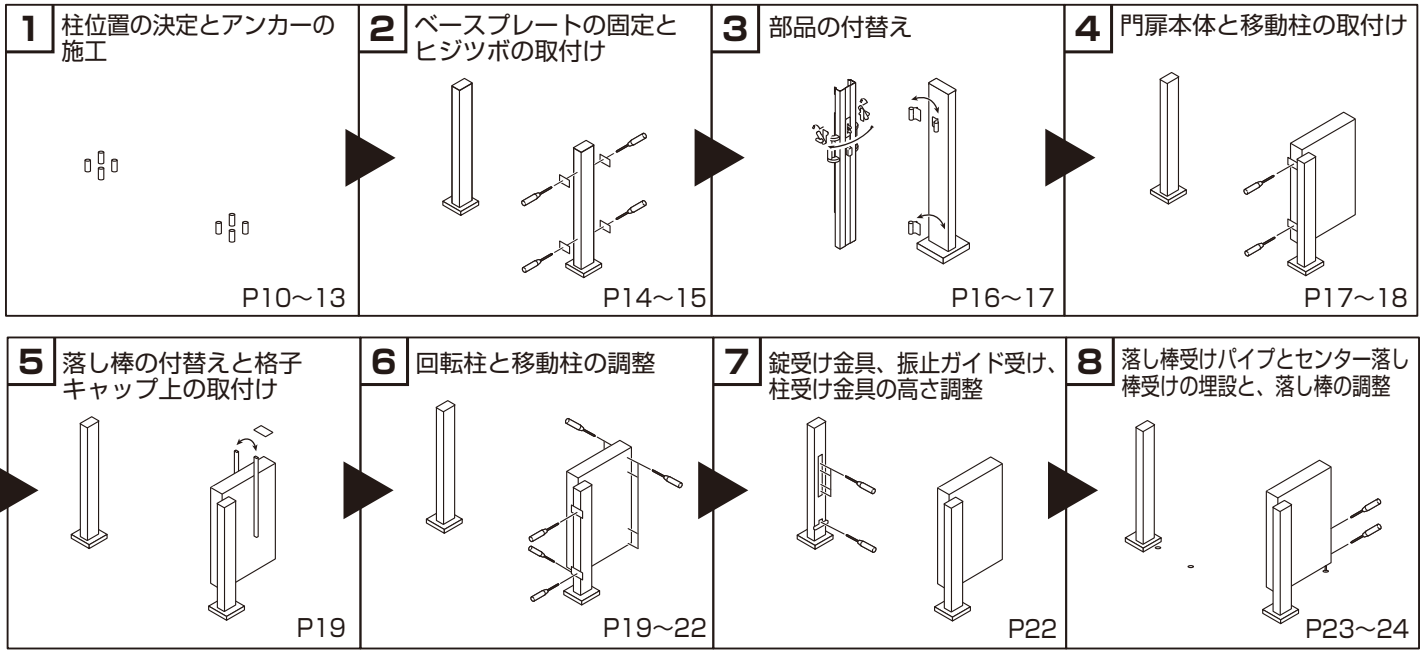
※()内寸法はH14を示します。

各部名称と
基本寸法図と

| 型 式 | 全 幅 | 親全幅 | 子全幅 | 親たたみ幅 | 子たたみ幅 | 90°収納 開口幅 | 180°収納 開口幅 | 落下棒数 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|---------------|------|
| (135+200)W | 3,250 | 1,955 | 1,295 | 375 | 275 | 2,670 | 3,050 | 2 |
| (135+220)W | 3,470 | 2,175 | 1,295 | 405 | 275 | 2,890 | 3,270 | 3 |
| (135+245)W | 3,690 | 2,395 | 1,295 | 435 | 275 | 3,110 | 3,490 | 3 |
| (135+265)W | 3,910 | 2,615 | 1,295 | 470 | 275 | 3,330 | 3,710 | 3 |
| (135+290)W | 4,130 | 2,835 | 1,295 | 500 | 275 | 3,550 | 3,930 | 3 |
| (135+310)W | 4,350 | 3,055 | 1,295 | 535 | 275 | 3,770 | 4,150 | 3 |
| (135+335)W | 4,590 | 3,295 | 1,295 | 590 | 275 | 4,010 | 4,390 | 4 |
| (135+355)W | 4,810 | 3,515 | 1,295 | 620 | 275 | 4,230 | 4,610 | 4 |
| (135+380)W | 5,030 | 3,735 | 1,295 | 655 | 275 | 4,450 | 4,830 | 4 |
| (135+400)W | 5,250 | 3,955 | 1,295 | 685 | 275 | 4,670 | 5,050 | 4 |
| (135+420)W | 5,470 | 4,175 | 1,295 | 720 | 275 | 4,890 | 5,270 | 4 |

※落下棒数はセンター落下棒を除く。

2 施工の流れ



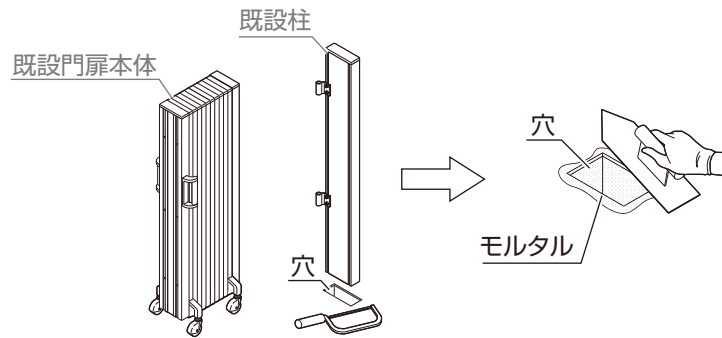
3 施工手順

3-1 既設伸縮門扉の撤去（取替えの場合）

1: 既設の伸縮門扉本体を撤去する

施工上のお願い

- 既設柱を金ノコやディスクグラインダーでG.L.面で切断してください。
- 柱切断後の穴には雨水が溜まりますのでモルタルなどで埋め戻してください。



3 施工手順

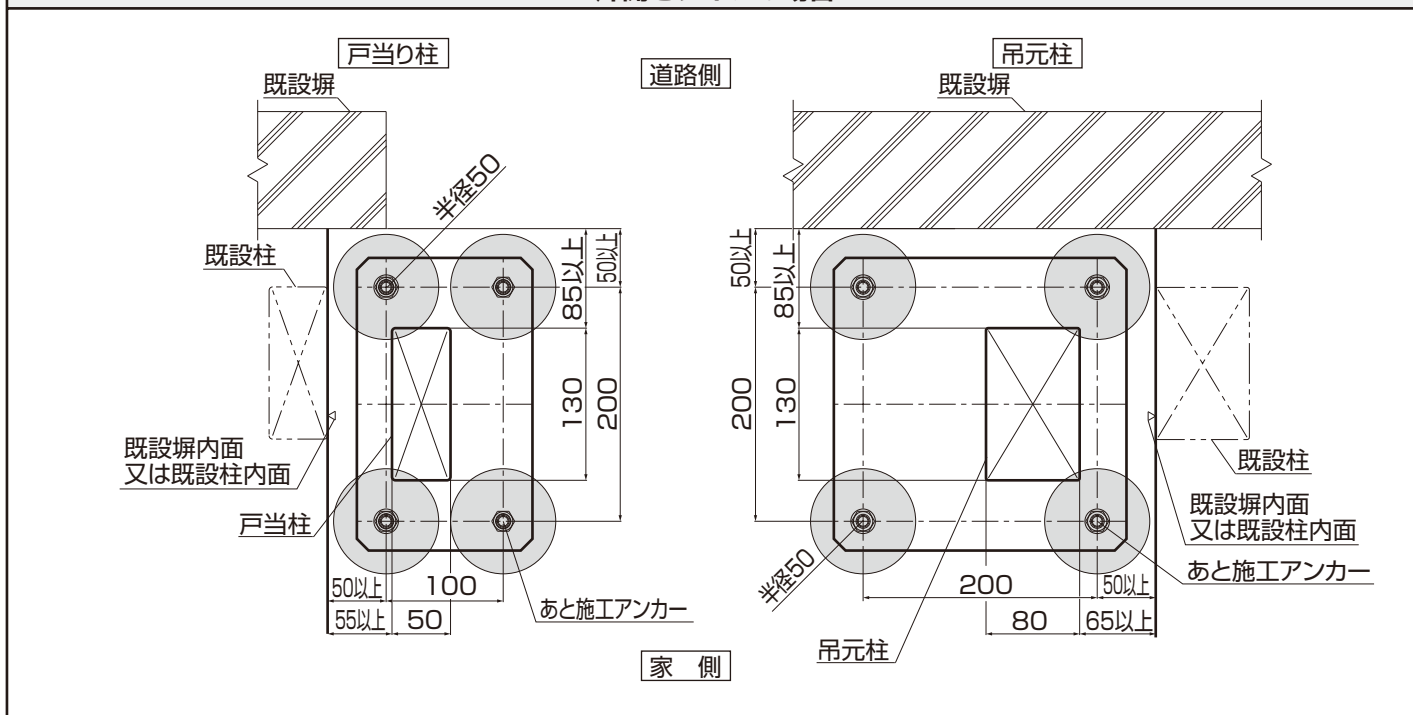
3-2 柱位置の決定

1: 下記の図を参照して柱位置を決める

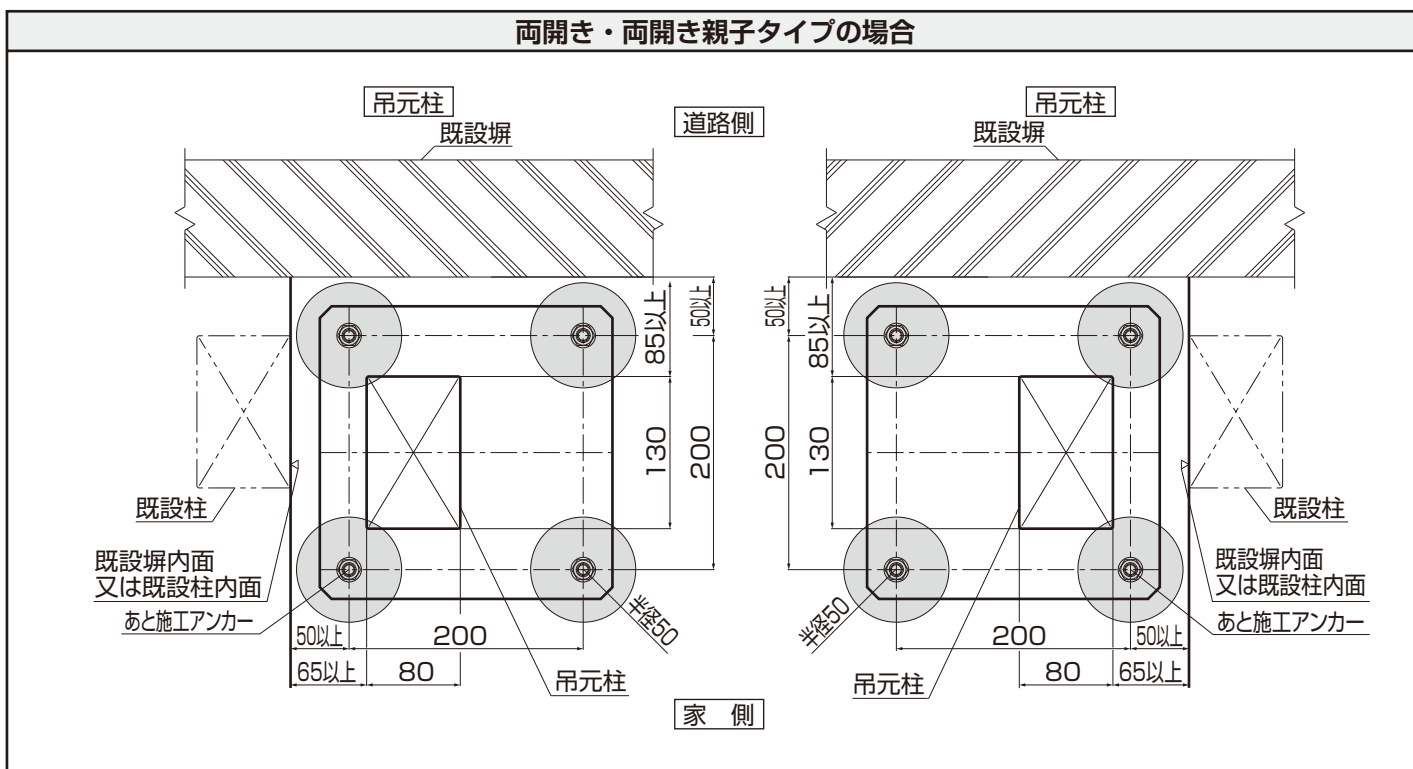
施工上のお願い

- あと施工アンカーは既設柱の穴、既設壁から最低半径50mm以上離してください。
- 下図面の○部は強度上必要な面積です。

片開きタイプの場合



両開き・両開き親子タイプの場合

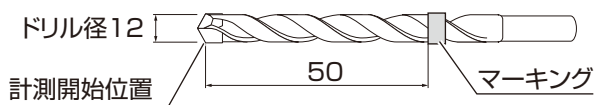


施工手順

3 施工手順

3-3 アンカーの施工

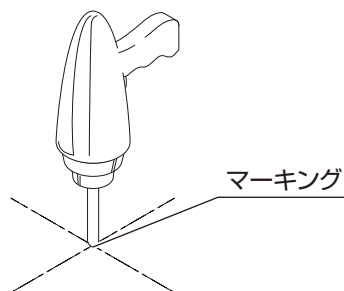
- ①: ③-2を確認して、穴位置に墨出しを行う
- ②: ドリル径12のコンクリートドリルに、下図を参考にしてテープ等でマーキングする



- ③: ハンマードリルもしくは振動ドリルで墨出し位置に穴をあける

施工上のお願い

- 垂直に穴あけしてください。
- マーキング位置の深さまで正確に穴あけしてください。

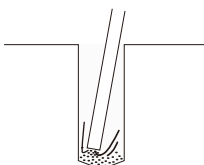


- ④: 切粉を除去する

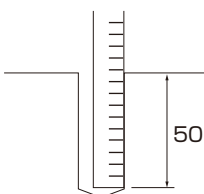
⚠ 注意

- 穴内清掃が不十分ですと強度低下の原因となりますので、穴内清掃は確実・丁寧に行ってください。
- 穴内に水が溜まった場合は水を完全に除去してください。穴内の湿潤は問題ありません。

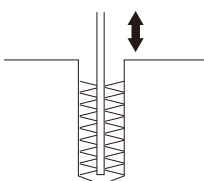
- ① 集塵機またはダストポンプで穴内の切粉を取り除いてください。



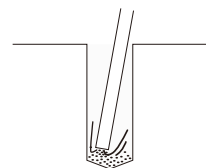
- ② 穴深さが50mmあることを確認してください。



- ③ 穴内清掃用ブラシ (φ12用) を使用してください。



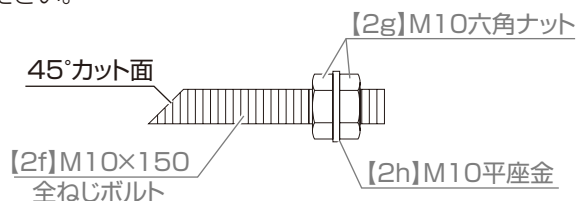
- ④ 再度、集塵機またはダストポンプで穴内の切粉を取り除いてください。



- ⑤ ③④の作業を2~3回繰り返してください。

- ⑤: 全ねじボルトにマーキングを行う

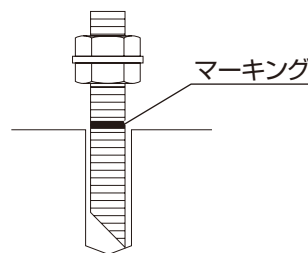
- ① 全ねじボルト後端にダブルナットを締めつけ固定してください。



施工上のお願い

- ボルトに油分が付着している場合は拭き取ってください。

- ② 穴に全ねじボルトを差し込み、マジック等でマーキングを行ってください。



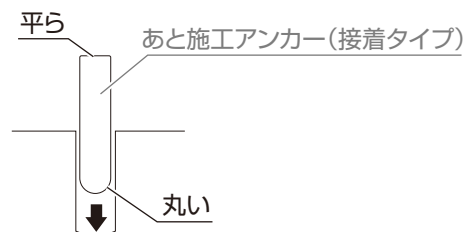
施工上のお願い

- 穴毎にマーキングを行い、それぞれの穴深さにあわせてください。

- ⑥: あと施工アンカー(接着タイプ)の先端が丸い方を下側にして挿入する

施工上のお願い

- カプセルは直射日光に当たらないようにしてください。
- カプセルを火気、高温物に近づけないでください。



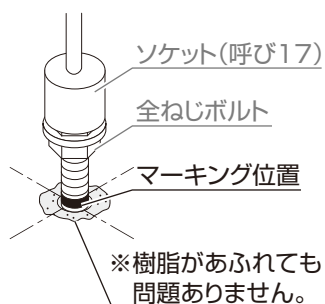
3-3 アンカーの施工 (つづき)

7: インパクトドライバーにソケット(呼び17)をセットする

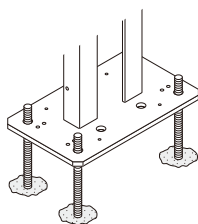
8: 5の全ねじボルトに回転と打撃を与えカプセルを粉砕しながら、マーキングの埋込み深さまで垂直に埋め込む

▲ 注意

- 回転を途中で止めず一気に埋め込んでください。
- マーキングが施工面に達したら（ボルト先端が穴底に達したら）直ちに回転を止めてください。回転・打撃を続けた場合、過剰かく拌となり強度が低下します。
- 樹脂硬化時間中は絶対に全ねじボルトを動かさないでください。動かした場合、接着面が破壊され強度が低下します。六角ナットの外しやボルトの傾き修正は硬化後に行ってください。



※ベースプレートを全ねじボルト部にのせると穴を合わせやすくなります。



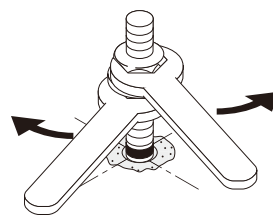
9: 下表を参考に硬化養生を行う

| 外気温 (°C) | -20 | -10 | -5 | 0 | 5 | 10 | 15 | 20 | 25 | 30 |
|----------|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|
| 硬化時間 (分) | 720 | 180 | 100 | 60 | 40 | 25 | 18 | 15 | 12 | 10 |

10: 硬化養生後、六角ナットを外す

施工上のお願い

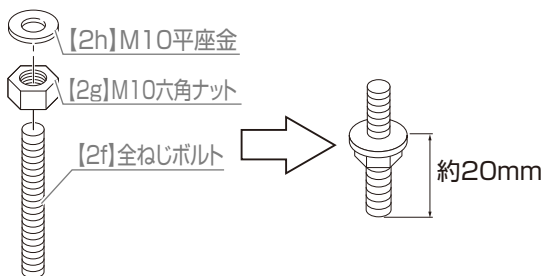
- 必ずスパナを2本使用し、六角ナットを緩めてください。
- インパクトドライバーは使用しないでください。
- 六角ナットの外しやボルトの傾き修正は硬化後に行ってください。



3 施工手順

3-4 ベースプレートの固定

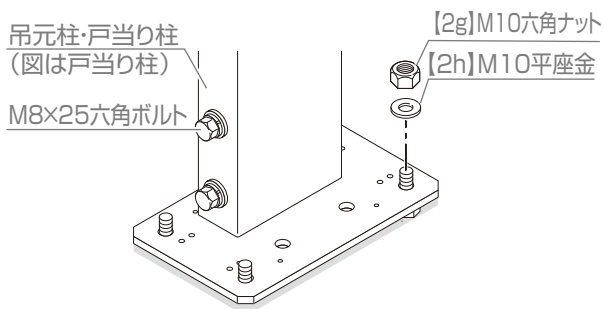
1: 全ねじボルトに六角ナットと平座金をセットする



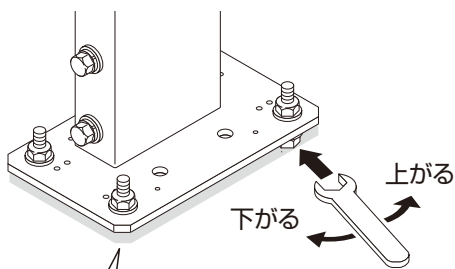
2: ベースプレート付柱を「3-2」柱位置の決定を参照して、向きに注意してアンカーボルトにセットする

⚠ 注意

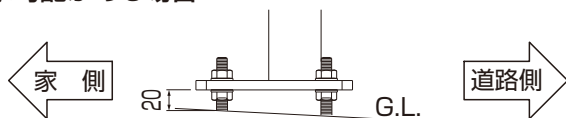
- 柱を固定しているM8×25六角ボルトにゆるみがないことを確認してください。
- M10六角ナット、M10平座金は転倒防止のため仮止めしてください。



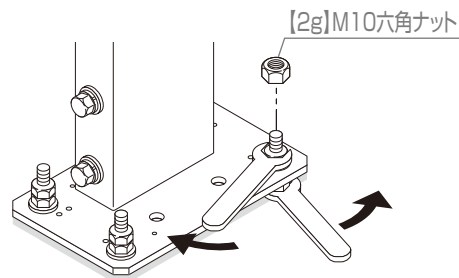
3: 下側のナット位置を調整し、左右の柱のレベルと柱の垂直を調整する



● 水勾配がある場合



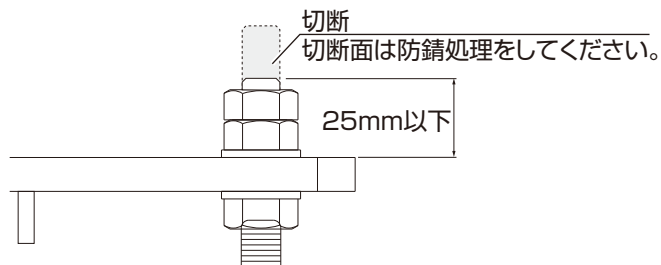
4: レベル、垂直調整後、ベースプレートをダブルナットで固定する



5: 全ねじボルトの余剰部分をディスクグラインダーで切断する

施工上のお願い

- 壁があり、切断しづらい場合は一旦柱を外して切断してください。
- 防錆処理は市販の錆止め材を使用してください。



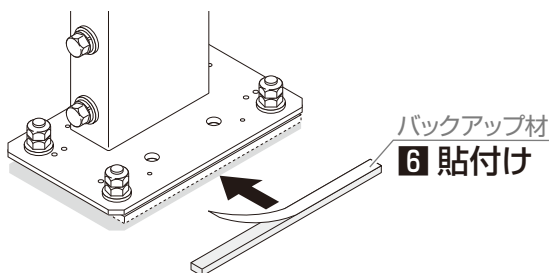
3 施工手順

3-4 ベースプレートの固定 (つづき)

6: ベースプレート下部の縁にバックアップ材を貼る

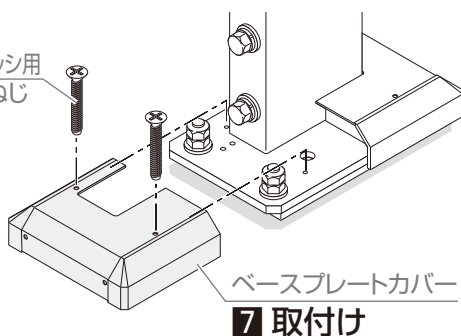
施工上のお願い

●壁が接近している面は貼りつけ不要です。



7: ベースプレートカバーを取付ける

[2a] φ4×40サッシ用
サラタッピンねじ

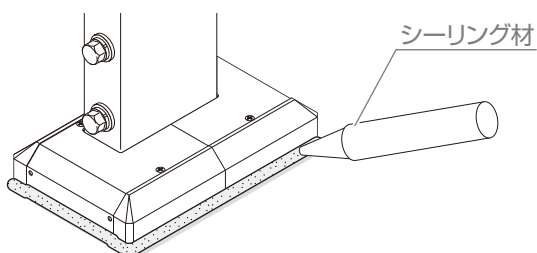


8: ベースプレートカバーの下部にシーリングをする

※シーリングには市販のコンクリート用変成シリコン系シーリング材を使用してください。

施工上のお願い

●壁が接近している面はシーリング不要です。



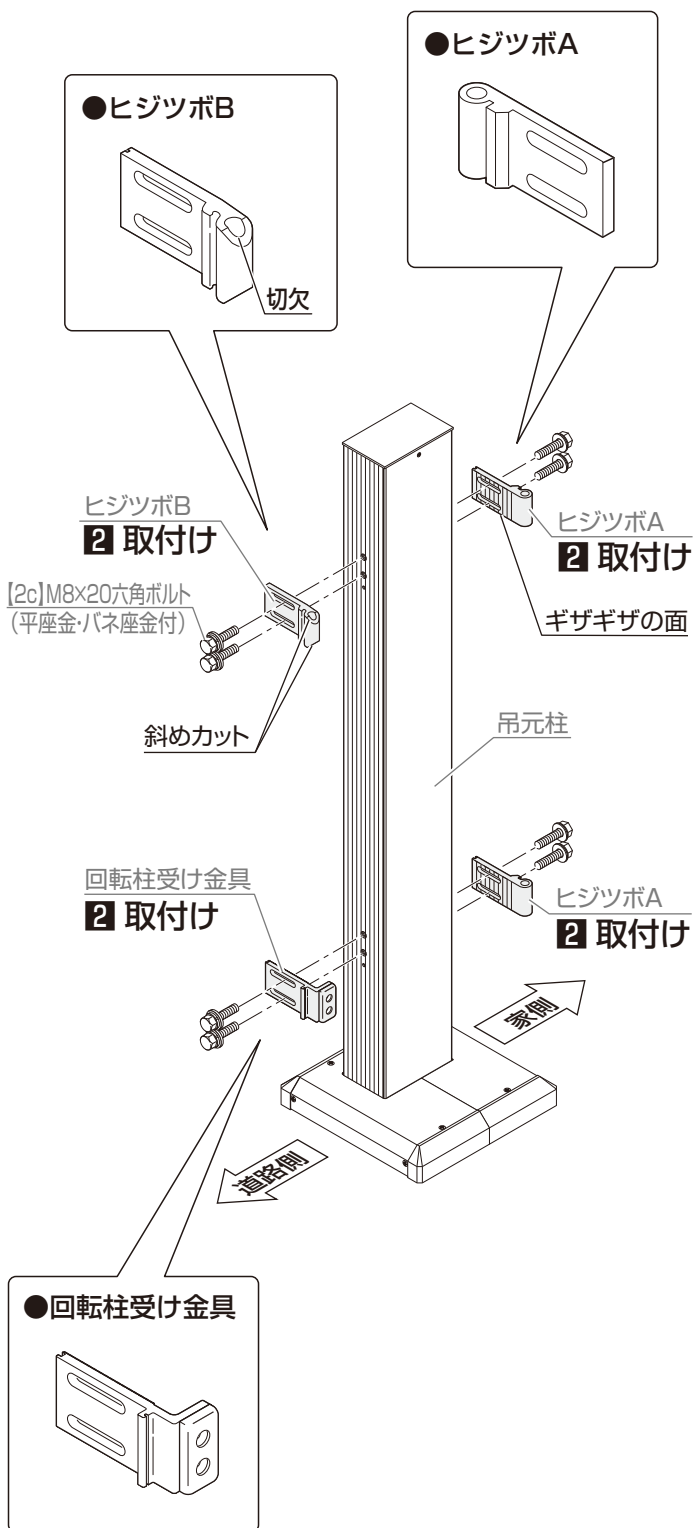
3-5 ヒジツボの取付け

1: 門扉本体の設置方向と、家側・道路側を確認する

2: 吊元柱にヒジツボA・ヒジツボBおよび回転柱受け金具を長穴のセンターに【2c】で取付ける

施工上のお願い

●ヒジツボA・ヒジツボB・回転柱受け金具はギザギザの側を吊元柱側に向けてください。



3 施工手順

3-6 錠金具の付替え（右勝手の場合）

1: 長座をマイナスドライバー等で取外す

施工上のお願い

- 錠金具は左勝手で組立されています。右勝手でご使用の場合、錠金具(キーシリンダー)が道路側にくるように付替えてください。
- 長座をマイナスドライバー等で外してください。その際に必ず布をあてるなど型材等にキズをつけないように注意してください。

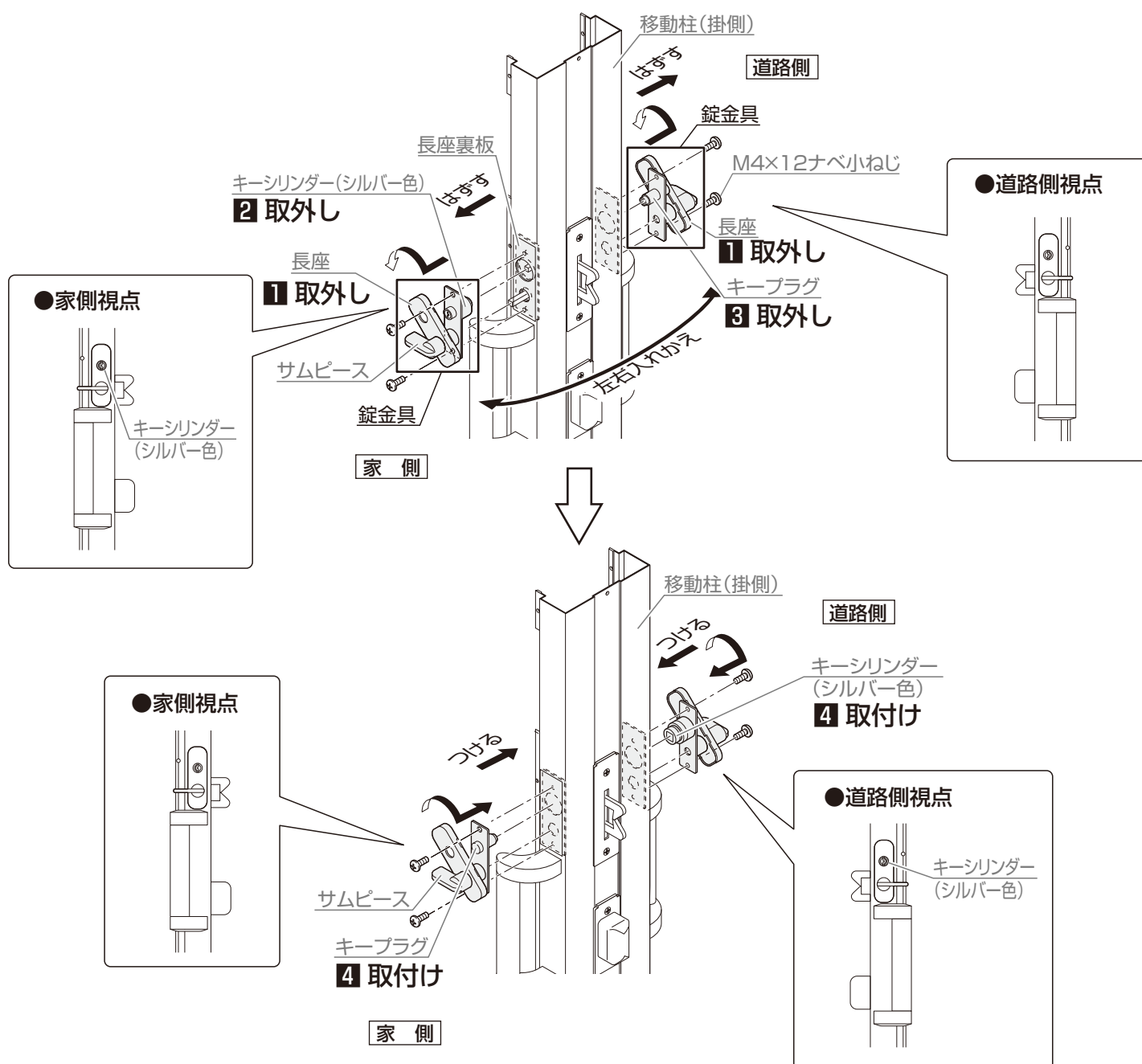
2: 長座を外して錠金具(キーシリンダー)を取付けている上下のねじを外す

3: 錠金具(キープラグ)も同じようにねじを外す

4: 組み替えた錠金具(キーシリンダー)が道路側へくるように取付ける

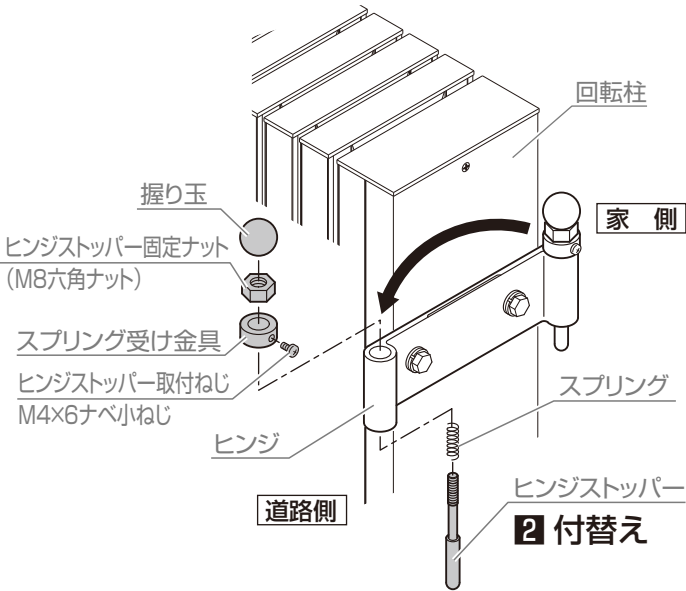
施工上のお願い

- 鍵穴が縦向き状態で取付けてください。
- サムピースの向きは図の向きに合わせて取付けてください。



3-7 ヒンジストッパーの付替え

- 1: 門扉本体の設置方向と、家側・道路側を確認する
- 2: ヒンジストッパーが家側に組付いている場合、道路側に付替える



3-8 門扉本体の取付け

注意

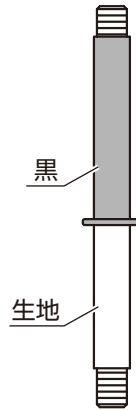
- 本体転倒に注意して、2名以上で作業を行ってください。

- 1: ヒジツボピンA・ヒジツボピンBを吊元柱に取付ける

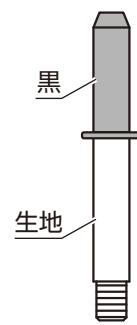
施工上のお願い

- ヒジツボピンA・ヒジツボピンBは、黒シャフト部を上に向けて取付けてください。

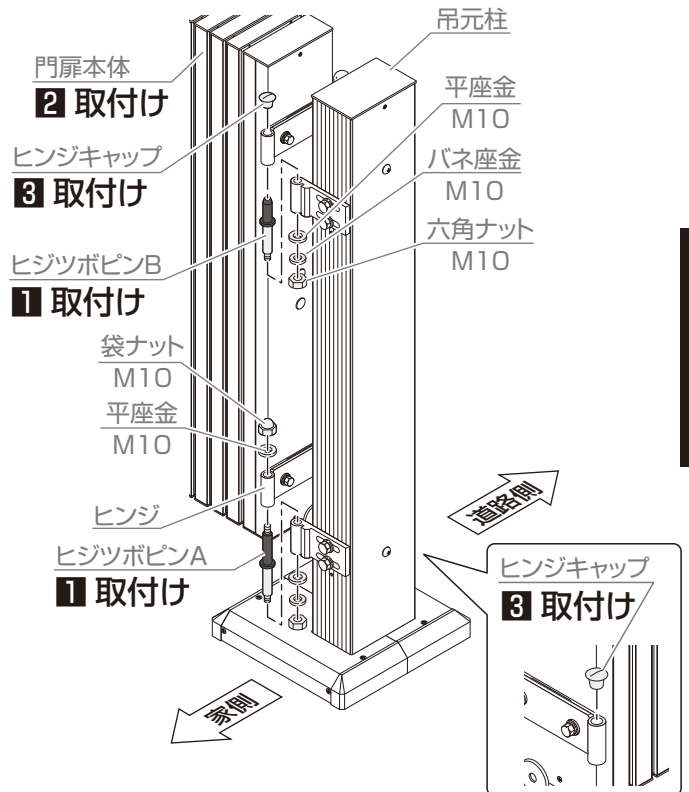
● ヒジツボピンA



● ヒジツボピンB



- 2: 門扉本体をヒジツボピンAからヒジツボピンBの順に吊元柱に取付ける
- 3: ヒンジキャップを家側上部と道路側下部のヒンジへ取付ける



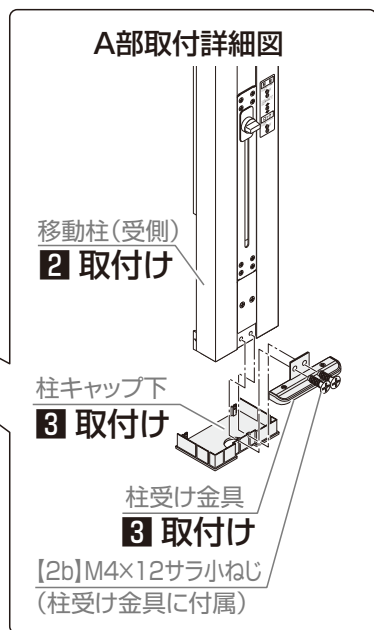
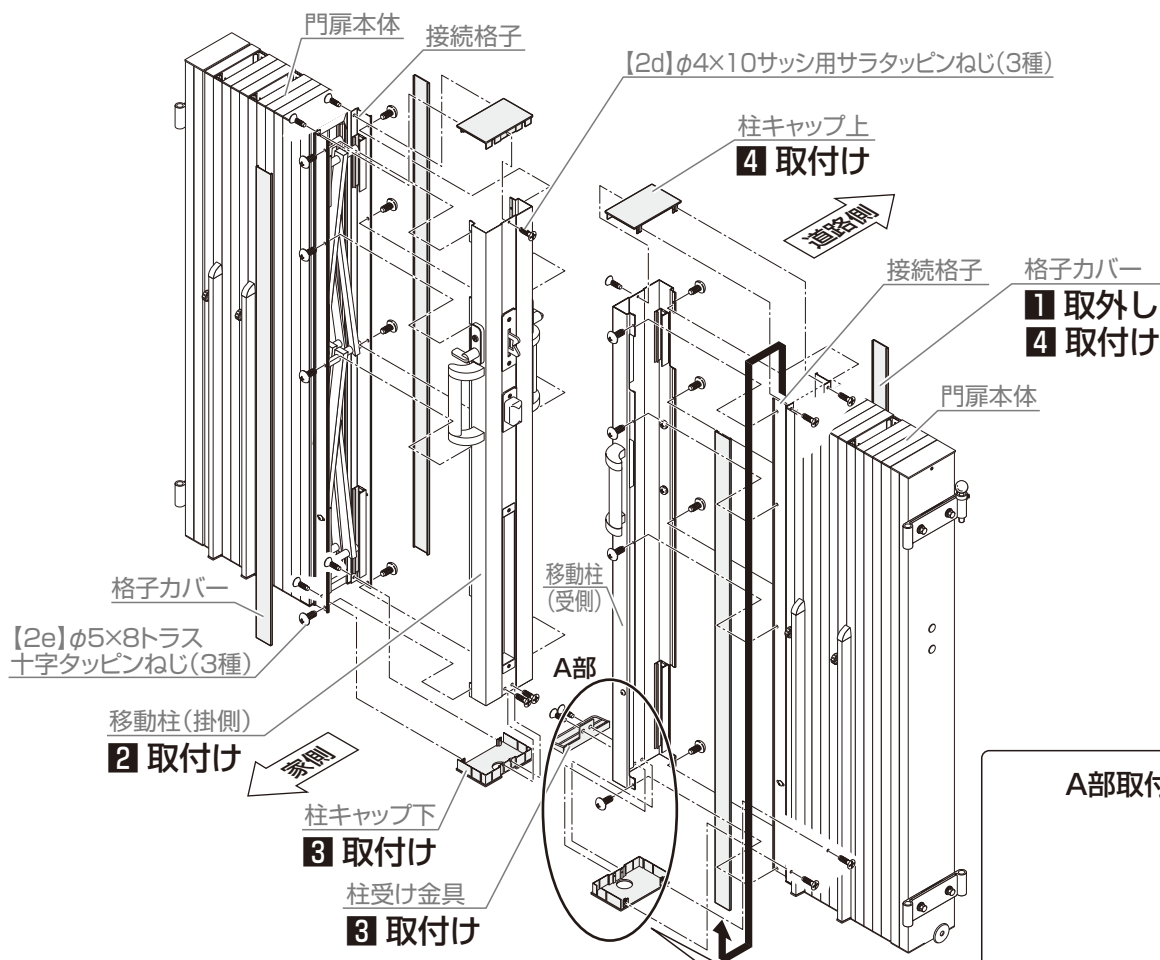
3 施工手順

3-9 移動柱の取付け

⚠ 注意

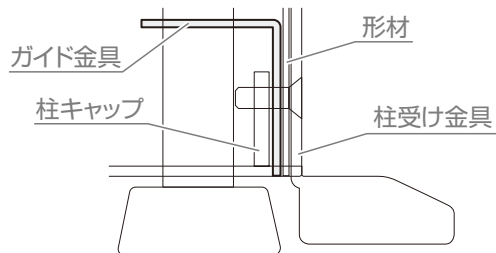
●本体転倒に注意して、2名以上で作業を行ってください。

- 1: 接続格子に仮止めされている格子カバーを上からスライドさせ取外す
- 2: 移動柱(掛側・受側)を取付ける
両開き親子タイプの場合は子扉に移動柱(掛側)を取付ける
- 3: 柱キャップ下と柱受け金具を取付ける
- 4: 3-10 ~ 3-16 の調整後に格子カバーと柱キャップ上を取付ける



施工上のお願

●移動柱(掛側)の内側にはセンター落とし棒のガイド金具が仮止めされています。下記の位置関係で共締めしてください。



3 施工手順

3-10 落し棒の付替えと格子キャップ上の取付け

※片開きタイプ（右勝手）、両開きタイプの場合は、落し棒が家側になるように以下の手順で付替えてください。

※落し棒の付替えを行わない場合は**5**のみ行ってください。

1: ナベ小ねじをゆるめて、落し棒を外す

施工上のお願い

●ねじ頭が大きい方のねじを外してください。

2: 家側・道路側の格子カバーを上スライドして外す

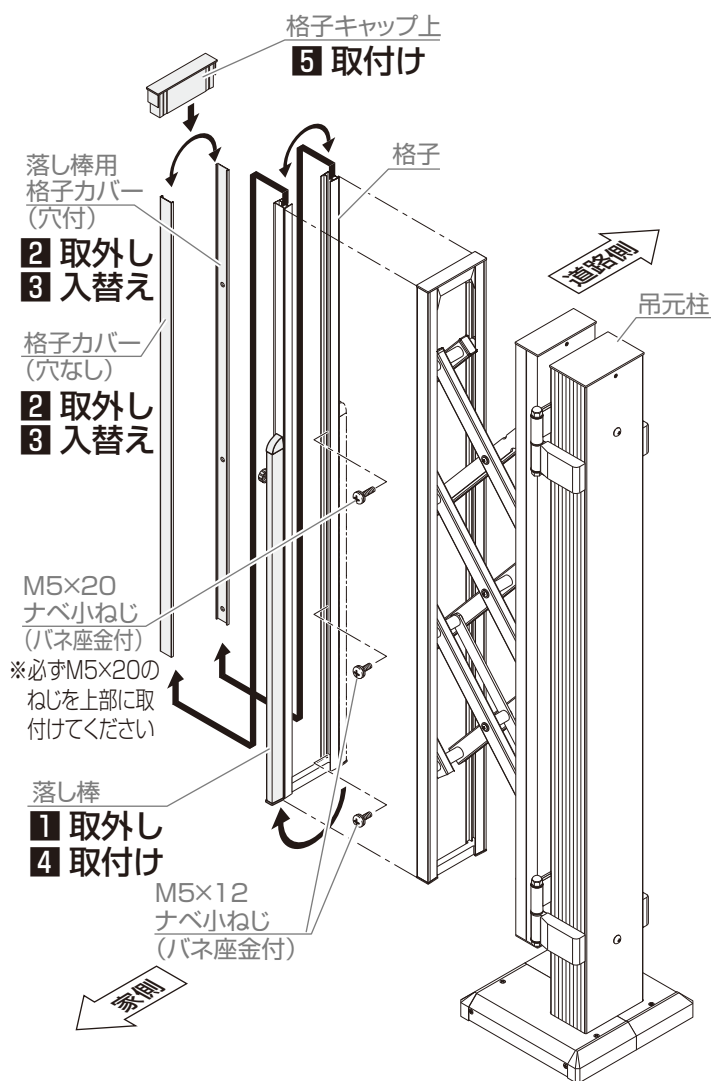
3: 格子カバーの家側・道路側を入れ替える

4: 逆手順で落し棒を取付ける

5: 格子キャップ上をプラスチックハンマーで軽くたたき込む

施工上のお願い

●格子キャップは一度取付けると、取外す際に固定用のツメが破損するおそれがあります。



3-11 回転柱の高さとヒンジストッパーの長さ調整

3-11-1 | 回転柱の高さ調整

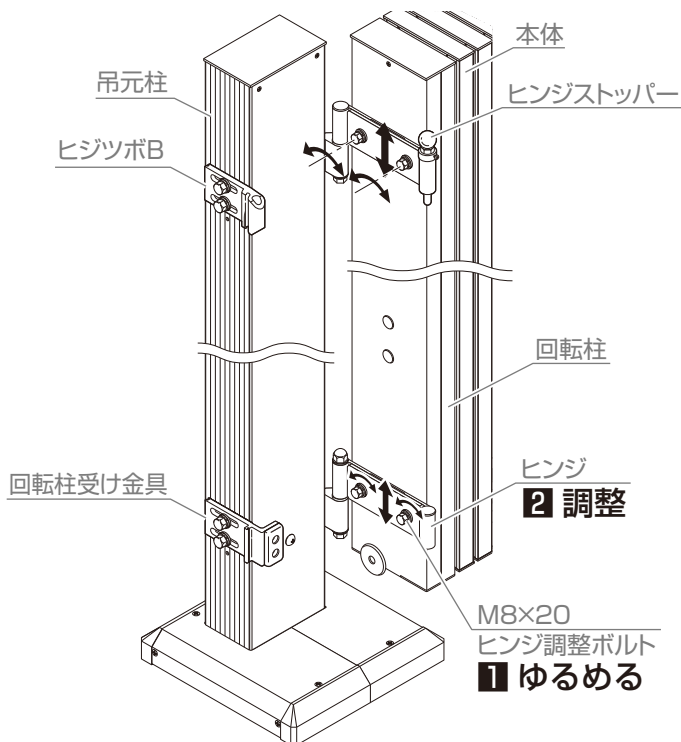
※吊元柱と回転柱の高さが合わない場合は以下の手順で調整してください。

施工上のお願い

●本体が落ちないように上下別々に調整してください。

1: 回転柱についているヒンジ調整ボルトをゆるめる

2: ヒンジストッパーがヒジツボBに、回転柱受け金具がヒンジの下に納まるように調整する



3-11-2 | ヒンジストッパーの長さ調整

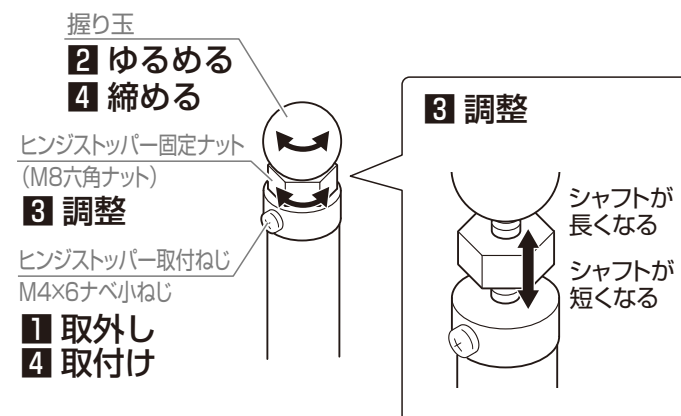
※ヒンジストッパーを引き上げずにヒジツボBから抜けてしまう場合は以下の手順で調整してください。

1: ヒンジストッパー取付ねじを外し、ヒンジストッパーをヒンジから取外す

2: 握り玉をゆるめる

3: ヒンジストッパー固定ナットを回転させてシャフトの長さを調整する

4: ナットを固定しながら握り玉を締めて、逆手順で取付ける



3-12 移動柱先端の高さ調整

3-12-1 本体の水平調整

※移動柱の高さが戸当り柱、他方の移動柱と合っていない場合、以下の手順で調整してください。(上下 50mm 以上の場合)

- 1:** 本体が垂れたり反ったりする場合には、吊元柱に付いているヒジツボのねじをゆるめてヒジツボAを出し入れし、本体が受側の柱受け金具に納まるように調整する

施工上のお願い

- アジャスターボルトで高さを微調整する場合は、「3-12-2 門扉本体の移動柱先端部の微調整」を行ってください。

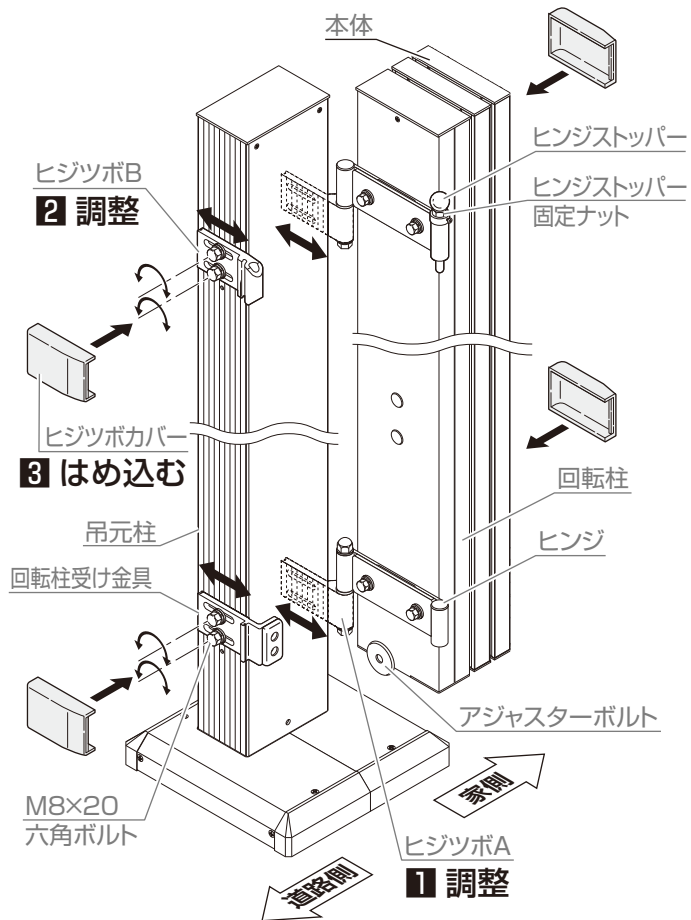
- 2:** 直線収納時、ヒンジストッパーがヒジツボBに納まるよう、また回転柱受け金具が回転柱に丁度触れるようにヒジツボBと回転柱受けを調整する

- 3:** 調整後、ヒジツボカバーをはめ込む

施工上のお願い

- 本体移動柱(掛側)を戸当り柱、移動柱(受側)より高めにしておき、「3-12-2 門扉本体の移動柱先端部の微調整」を参考にしてアジャスターボルトで下げるようにすると調整がしやすくなります。

- 構造上、吊元柱と回転柱が平行にならない場合があります。



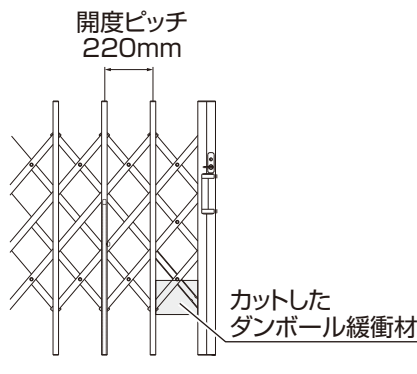
3-12 移動柱先端の高さ調整 (つづき)

3-12-2 門扉本体の移動柱先端部の微調整

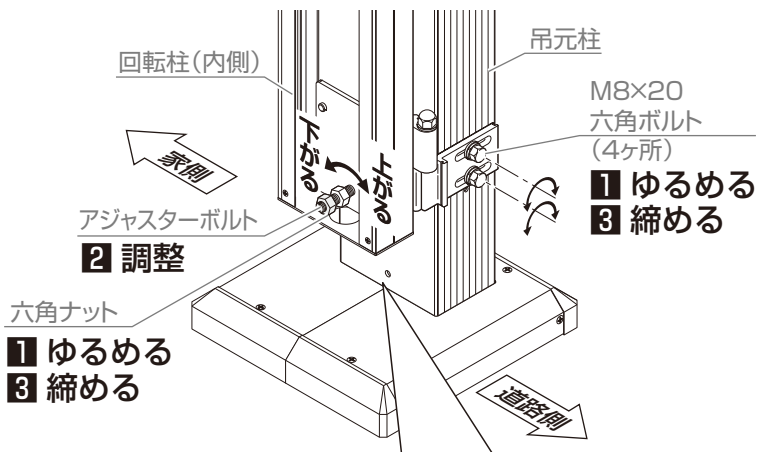
※微調整幅が上下 15mm 以内の場合、以下の手順で調整してください。

施工上のお願い

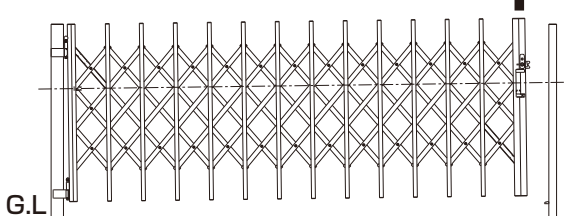
- 355S以上のサイズで本体を伸ばした状態が維持できない場合は、ダンボール緩衝材を開度ピッチ220mmになるようにカットして格子の間にはさんでください。



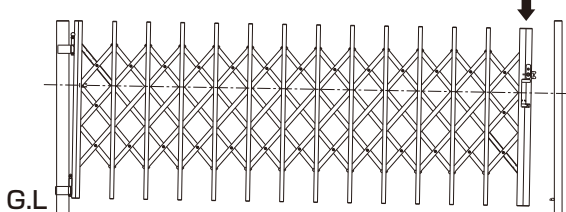
- 1: 吊元柱下側のヒジツボ・回転柱受け金具(家側・道路側)の六角ボルト4本と、六角ナットをゆるめる
- 2: アジャスターボルトをマイナスドライバーで回して、移動柱先端高さを調整する
- 3: 回転柱受け金具を回転柱にピッタリあてて、ゆるめた各ボルト・ナットを締める



- 右に回すと先端が上がる



- 左に回すと先端が下がる



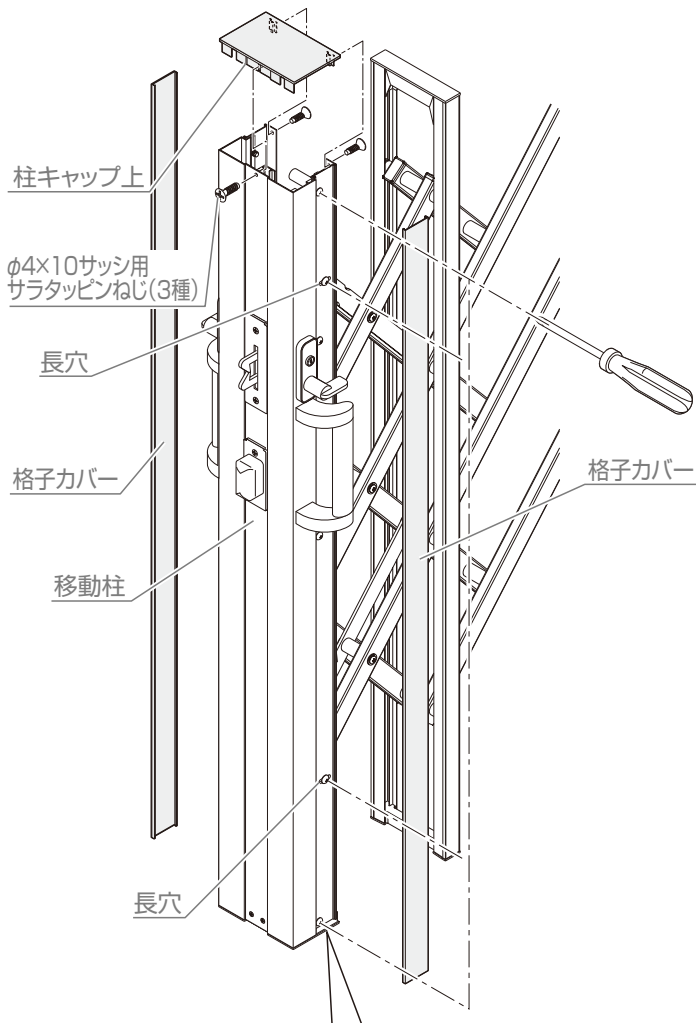
3 施工手順

3-13 移動柱の角度調整

施工上のお願い

●戸当り柱と移動柱および両開き時の移動柱同士が平行に取付かない場合、以下の手順で調整してください。

❶: 移動柱の角度調整部分のねじ(8カ所)をゆるめ、戸当り柱または移動柱と合わせて締め直す

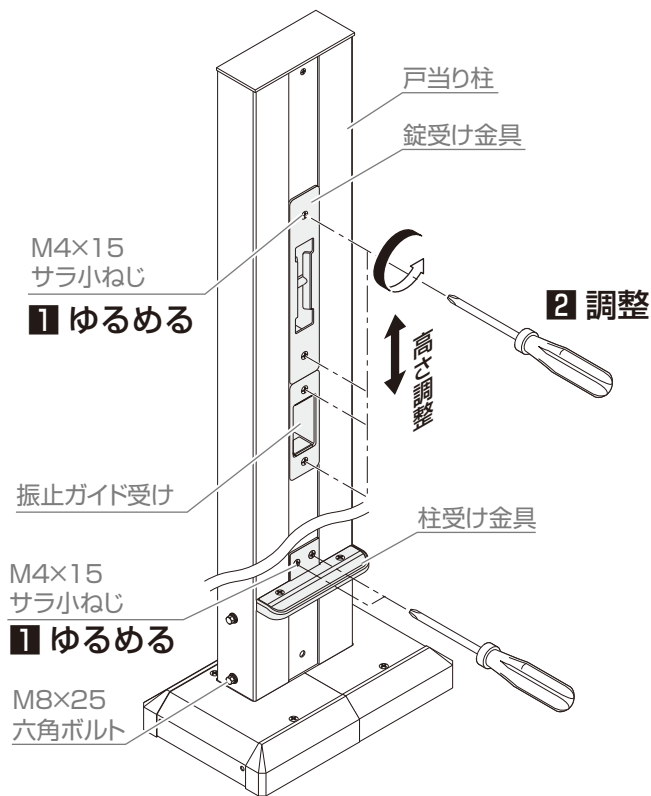


3-14 錠受け金具、振止ガイド受け、柱受け金具の高さ調整

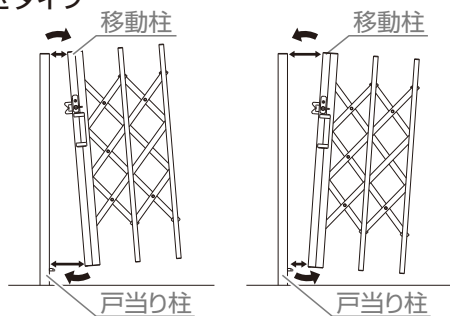
- ❶: サラ小ねじをゆるめて高さ調整する
- ❷: 調整後はサラ小ねじを十分締めつける(上下各5mm調整が可能)

施工上のお願い

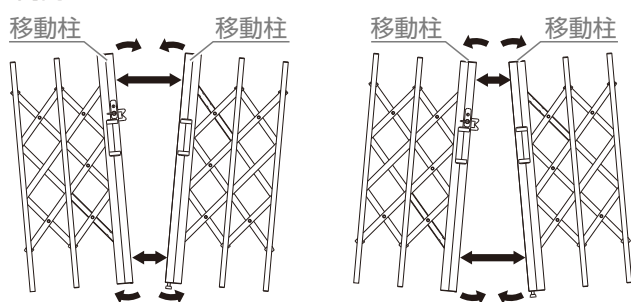
●部品がばらけないよう、3回転以上ねじをゆるめないでください。



片開きタイプ



両開きタイプ



3 施工手順

3-15 落とし棒受けパイプとセンター落とし棒受けの埋設

1: 次の位置に落とし棒受けパイプを埋設する(下穴φ18~20深さ44mm)

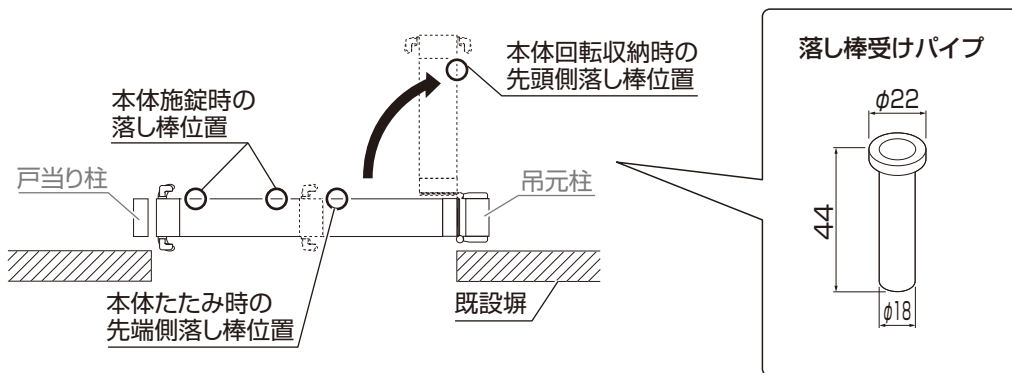
- ・ 本体を施錠したときの全ての落とし棒位置
- ・ たたみ時の先端落とし棒位置または回転収納時の先端落とし棒位置(下図は90度の場合を示す)

2: 両開きタイプの場合、施錠時のセンター落とし棒部にセンター落とし棒受けを埋設する(下穴φ38~40深さ17mm)

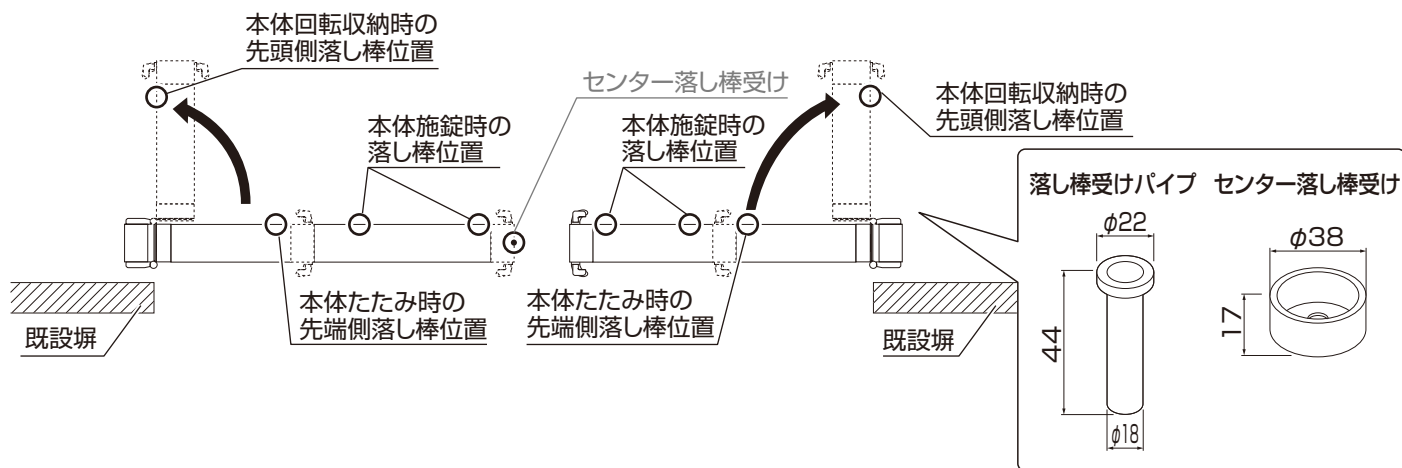
施工上のお願

- 基礎寸法は 1-2 を参照し指定寸法以上にしてください。
- 下穴が大きくなり落とし棒受けが固定されない場合は、市販の屋外用コンクリート接着剤等で固定してください。
- 落とし棒受けパイプを接着剤で固定する場合は、用途に樹脂との接着があるものを使用してください。
- センター落とし棒受けを接着剤で固定する場合は、用途に金属との接着があるものを使用してください。

■片開きタイプ



■両開きタイプ・両開き親子タイプ



3-16 センター落とし棒の下限位置設定（両開きの場合）

1: センター落とし棒をセンター落とし棒受けに落とし、下限位置を決める

施工上のお願い

●移動柱下部とGLの隙間は100mmとなります。

2: 基準シールをツマミ上端部の横に貼りつける

